

自由民主党
京都市会
議員団ニュース



平成27年(2015)1月25日発行
 ■発行人/繁 隆夫
 ■編集委員/山本恵一、さくらい泰広、棕田隆知、しまもと京司
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
 http://jimin-kyoto.jp/

No.48

補正予算 17億8900万円

子育て環境日本一を目指す

独自の緊急支援 排水ポンプ整備

今回の補正予算案は、大きく3点あり、まず1点目は「子育て支援の更なる充実」のため、5月補正、9月補正に続き、入所定員を更に拡大するための予算を計上、「子育て環境日本一」

を目指します。

2点目は「経済対策」として「急激な円安等による原材料及び燃料費の高騰等に対する本市独自の緊急支援」を行います。安倍内閣の経済政策により、景気は

回復基調となり、デフレ脱却に向けた光が差してまいりました。しかしながら、中小企業の回復が遅れが見られる中、本市独自の支援策として、中小企業の収益改善の取組を支援し、最重

要課題である景気回復を確実なものとしします。

3点目は「雨に強いまちづくり」のため、昨年の台風18号の教訓を踏まえ、排水機場の集中監視システムと梅津都市下水路の排水ポンプを整備します。

衆院選で成立遅れ 市民生活に影響? 遺憾

以上の3点を柱とした今回の補正予算は、現下の社会経済情勢やニーズ等にス

ピード感を持って対応する中小企業への支援等、いずれも緊急性の高い事業であり、予算成立後速やかに執行し、効果を挙げられるよう求められているものです。

このような状況にもかかわらず、衆議院の解散総選挙を理由に共産党、民・都みらい、公明党は事実上、

「地方が主役」 地方創生の実現 市長も方針を表明!

総選挙期間中の議会の休会を求めました。私たち自民党市議員団は反対しましたが市会運営委員会で三派の賛成多数で日程変更が決定され、予算の成立が2週間近く遅れたことは、遺憾と言わざるを得ません。

地下鉄烏丸御池駅

ホーム柵設置で安全に

地下鉄烏丸線の烏丸御池駅にこのほど可動式ホーム柵が設置されました。

ホーム上の安全を確保し、お客様に安心して地下鉄にご乗車いただくため、引き続き、お客様が多く混雑する京都駅、四条駅において、費用負担の大きい車両改造を行わない方法での可動式ホーム柵設置に取り組めます。



設置された地下鉄烏丸御池駅のホーム柵

市バスでもICカードOK

市バスでもICカードが利用できるようになりました。

「Pi-TaPa (ピタパ)」「ICOCA (イカ)」「Suica (スイカ)」などの10種類の交通系ICカードがご利用できる「全国相互利用サービス」にも対応するなど、市民や観光客の皆様の利便性が一段と向上しました。

また「Pi-TaPa」カードで市バスと地下鉄をご利用いただいた場合、1箇月間(毎月1日~末日)のご利用額(市バスと地下鉄の合算額で3,000円以上利用した場合)に応じて、自動的に運賃を割り引く、利用額割引サービスを適用します。

昨年12月の総選挙で、私たち自民党は「地方創生」を実現し将来にわたって活力ある日本社会を維持すること、「まち・ひと・しごと」の好循環を確立し、個性豊かで魅力ある地域社会をつくることをお約束しました。

これを受けて市長は、国が自治体に2015年度中の策定を求めている「地方創生の総合戦略」について、日本のモデルとなるような内容で、9月までに策定する方針を示しました。

「和」のライフスタイル振興

伝統産業よさ発信 日本酒条例普及とともに

橋村芳和議員 (伏見区)

橋村芳和議員(質問) 自民党市議団からの提案により、「京都市清酒の普及の促進に関する条例」が制定され2年を迎えますが、今後、清酒の振興と、条例の普及を通して他の伝統産業製品や和のライフスタイルの振興をどう取り組まれるのか、お聞かせください。

門川大作市長(答弁) 条例制定後、酒どころ京都を全国



昨年11月に開かれた「日本酒条例サミットin京都」

例サミットin京都」では条例制定自治体が一堂に会し、日本酒をはじめ、伝統産業の素晴らしさを全国に発信いたします。更に、次代を担う若手職人が結成した「KNOIscOol!プロジェクト」は、活用には様々な課

橋村芳和議員の質問項目

- ・平成27年度の財政運営と予算編成
- ・阪神・淡路大震災から20年目を迎え、本市の震災対策の総括と今後の取組
- ・水害対策(昨年の台風18号による小栗栖地域の浸水被害に係る示談交渉の課題及び早期解決に向けた決意。排水機場集中監視システムの早期構築=要望)
- ・日本酒の振興だけでなく、「京都市清酒の普及の促進に関する条例」の趣旨である「和」の振興
- ・和食文化に触れる学校給食の推進
- ・地下鉄の増客につながる東部クリーンセンター(伏見区石田)の跡地活用

和食の学校給食 一層推進を検討

ロジエクト」では、バレンタインデーに、お猪口を西陣織の袋に入れて贈る「マイ猪口キャンペーン」などの展開も予定しています。

橋村芳和議員(質問) 学校給食は、市民の関心も高く、

今後、小学校給食における具体的な和食の一層の推進方策について、お聞かせください。

生田義久教育長(答弁) 食器については、「学校給食における『和食』の検討会議」においても現状のアルマイト食器から、より味わいを感じることができる食器への速やかな更新を推進すべきとされ、来年度からの計画的な更新を検討します。また、京野菜を使用した献立などの充実により、地産地消の推進を図り、学校における給食や食育に関する情報を発信し、家庭における食生活を見直す機会につなげていただく取組などを充実します。

クリーンセンター 跡地活用で増客

橋村芳和議員(質問) 東部クリーンセンターの跡地(伏見区)は、活用には様々な課

題がありますが、地下鉄1日5万人増客は、難しい課題を着実にクリアした結果、達成できる高い目標であり、地下鉄の増客の観点からも、跡地の活用を願ってやみません。

上下水道局名称見直しも

大西均議員 (左京区)

大西均議員(質問) 「上下水道局」という名称からは、水道水を提供して、汚水を処理する組織というイメージが根強いのではないのでしょうか。「水循環基本法」が制定施行された

水循環法に合わせ 幅広い使命に相応しく

今、市民の皆様にとつて貴重なライフラインを担う役割を持つ局の名称を見直し、全国的にも先駆的な新しい名称をご検討いただけるよう提言します。

門川大作市長(答弁) 水循環基本法の施行を好機と捉えて、水道水の供給や汚水の処理にとどまらない、幅広い使命をより総合的かつ的確に表

門川大作市長(答弁) 地下鉄東西線「石田駅」から約300mに位置し、約4万3千平米もの広大な敷地を有しております。今後、事業者から現在の都市計画制限等にとら

われない、自由で創意工夫に富んだ提案をいただき、地域の方々のご理解も得る中で、地下鉄増客もとより、50年後100年後を見据え、スピード感をもって取り組みます。

花脊峠トンネル 実現化こそ急務

大西均議員(質問) 左京区北部山間地域はこの23年間に、約29%も人口が減少しました。この地域では京都の誇るべき伝統文化が細々と継承されています。この地域の生活道路は、狭い幅員で冬季の積雪や濃霧の発生、台風、大雨などにより、車両の安全通行はしばしば、困難な状態になります。左京区北部山間地域の創生の切り札は、花脊峠トンネルの実現化しかありません。そうでなければ伝統文化を捨て去り、この地域に暮らす住民を見捨てることになりません。

婚姻率を上げて 少子化対策に

大西均議員(質問) 京都市が少子化対策として最重要課題は「結婚してもらおう」ということではないでしょうか。出生率を上げるにはまず、婚姻率を上げるべきというのが、私の持論であります。婚姻率向上の目標を掲げ、カップリングから結婚まで導く具

大西均議員の質問項目

- ・市バス・地下鉄事業の今後の経営に対する決意
- ・水事業(「水循環基本法」の制定に合わせた名称の見直し)
- ・少子化対策(NPO法人への協力支援の考え。出生率向上に向けた具体的取組)
- ・過疎対策(北部山間地域のまちづくりのあり方。花脊峠トンネルの必要性)



花脊トンネルの早期実現が望まれる現場付近

ら80億円程度の事業費が必要となり、技術的な課題もあります。花脊峠のトンネル化については、直ちに事業化は困難な状況ですが、今後の左京区北部山間地域の幹線道路網の在り方について、検討を進めます。

平成27年
明けましておめでとうございます。
自由民主党京都市議員団
ニュースでは、議員団から市長に
提出した予算要望のなかで議員一
人ひとりに常任委員会での取り組
む力点について次の通り語ってら
った。

経済総務委員会

井上与一郎 (右京区)



災害時の帰宅困難者や観光客の安全確保と、都市排水路としての機能をもっている農業用水路の維持管理を行い、安心安全なまちづくりに取り組みます。

内海 貴夫 (東山区)



京都の都市格の向上の為、「双京構想」の実現に向け引き続き関係機関との協議を進め、その課題を把握し、かつ市民への周知に努めること。

中村三之助 (上京区)



本市は地方活性化の拠点として経済・雇用・子育て支援等の施策をしっかりと実施しなければなりません。議長として「ポストにベスト」で頑張ります。

西村 義直 (西京区)



147万市民の生活向上に繋がる予算となるよう景気や雇用対策を通して京都経済が活性化される産業や農業などの仕組みの構築に尽力します。

椋田 隆知 (南区)



市政改革を推進し、適切な予算配分と人員の配置。産業活性化と観光振興による京都経済の回復を、市民の安心・安全なくらしにつながる施策の充実。

くらし環境委員会

香川佐代子 (中京区)



京都の未来は、地域力と子供たちにあります。地域コミュニティへの加入促進や、子供たちの文化力の育成に息の長い取り組みが必要だと思えます。

繁 隆夫 (伏見区)



あらゆるスポーツ施設の整備・更新に当たっては、設計の早い段階から競技の専門家や利用者等の意見を聴取し、その意見を設計に反映させること。

しまもと京司 (南区)



経済や生活、社会全体への影響が重大なエネルギー政策や環境対策、さらには本市ならではの文化的市民力の向上で、他都市に負けない強い京都に！

吉井あきら (山科区)



京都市地域コミュニティ推進条例に基づき、更なる地域力の向上に取り組み、子どもたちから高齢者の皆さんが安心安全に暮らせるまちを目指します。

教育福祉委員会

加藤 盛司 (中京区)



「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念に基づき、子育て支援の充実、いじめの防止など「子育て環境日本一」のまち実現を目指します。

高橋泰一朗 (伏見区)



「子どもを共に育む市民憲章」の理念の主旨を踏まえ、あらゆる手法を考慮して子供を健やかに産み育てることのできる社会環境の整備を積極的に推進。

平成27年 私たちはがんばります

自民党市会議員団23人に聞く

田中 明秀 (西京区)



介護サービス基盤の整備促進等、高齢者の安心に資する施策の充実、「子育て環境日本一」の実現のためのハード・ソフト両面の充実の予算の確保。

寺田かずひろ (上京区)



次世代の子供たちを育み、健康で長生きできる社会(健康寿命を延ばす)の為、健康増進公園の利用拡大と地域社会の更なる充実に取り組みます。

山本 恵一 (北区)



社会福祉施設の耐震化の更なる推進に当たっての課題と学校運営協議会を核とした「いじめ」のない家庭・地域に開かれた学校づくりに取り組みます。

まちづくり委員会

大西 均 (左京区)



地区計画制度の見直し、都市計画道路(北泉通)の整備促進、橋梁の計画的な耐震化、大雨・台風被害対策の充実等々、生活に欠かせない項目に取り組みたい。

小林 正明 (北区)



近年、大規模集中豪雨が課題となっており、水路の点検をはじめ「雨に強いまちづくり」が重要。交通政策として「四条通歩道拡幅」「新景観政策」の説明責任。

さくらい泰広 (左京区)



安倍政権になり加速して進められた重要橋りょうの耐震化、京都市が管理する橋の老朽化対策、条例が制定された空き家対策の推進などに引き続き取り組みます。

下村あきら (下京区)



「防犯カメラの設置」「雨に強いまち」「交通バリアフリー」全体構想の推進等、市民及び観光客が求める「安心安全なまちづくり」に努力します。

中川 一雄 (伏見区)



安心・安全なまち京都の都市格の向上のため、街灯新設・更新や防犯カメラの設置を進め、市民の安心安全を保障する責任を果たすことが重要。

交通水道消防委員会

津田 大三 (中京区)



ユニバーサルデザインの徹底。特に烏丸御池駅に設置されるホーム柵は、障害者・高齢者など市民の安全に資する物。全駅設置に向けて取り組みます。

富 きくお (山科区)



集中豪雨の対策として、全ての水路の点検を行い、浸水対策の更なる強化充実を図ると共に、土砂災害警戒区域などでのパトロールを強化する。

橋村 芳和 (伏見区)



阪神・淡路大震災から20年。あらゆる災害に強いまちづくりの推進。消防団と自主防災会の充実。市民の生命と財産を守ることは議員の最大の使命です！

山元 あき (右京区)



近年頻発している大規模集中豪雨対策として、雨水幹線整備、合流式下水道改善などの着実かつスピーディーな推進が特に重要であると考えます。

皆様のご意見・ご要望をお寄せください

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091